

## 東京成徳おとぎ話文庫 誕生！



十条台図書館では特色ある大学図書館をめざして、子どもの文化図書資料に関連する文献や資料の収集を進めています。今年度は本学にゆかりの深い滑川道夫先生のご研究にちなみ、「桃太郎」に関する研究書や絵本、紙芝居、カルタなど貴重な資料を収集いたしました。本学の貴重な資料として多くの学生、教職員が活用されることを期待しています。

滑川道夫先生の桃太郎研究について、加藤理先生に解説していただきました。是非御一読の上、収集した資料をご覧いただきたいと思います。

尚、収集した資料は、1月7日（月）～1月30日（水）の間、図書館1階特設コーナーに展示いたします。是非、ご覧ください。

なめかわ みちお

## 滑川道夫と桃太郎研究

—東京成徳おとぎ話文庫の開設に寄せて—

子ども学部准教授 加藤 理

かつて東京成徳学園には、1970年から1988年まで東京成徳短期大学教授を務め、付属図書館長を兼任していた滑川道夫先生(1906-1992)が在職していました。

滑川先生は日本児童文学学会会長や日本児童文学者協会理事長、日本読書学会会長などの要職を歴任した日本の児童文化・児童文学研究の第一人者であり、同時に戦前期から児童文化運動の中心で活躍した日本の児童文化の発展の歴史の生き証人でもありました。単著、共著、共編著あわせて百数十冊の著書を誇る、まさに児童文化界の巨人とも言うべき偉大な研究者です。

滑川先生は1906年(明治39)に秋田県湯沢市に生まれ、秋田県師範学校卒業後に湯沢女子小学校訓導となったのを皮切りに秋田県内の小学校の訓導を歴任します。その間、成田忠久らとともに「北方教育」を創刊(1930年)し、さらに翌1931年(昭和6)に処女出版『文学形象の綴方教育』を出して綴り方教育の世界で注目されるようになります。この頃、全国を遊説していた「赤い鳥」の主宰者鈴木三重吉を秋田駅に出迎え、三重吉との対面も果たしています。

1932年(昭和7)に私立成蹊小学校の訓導となり、その後は東京で綴り方教育、児童文化の研究の中心として活躍するようになります。1941年(昭和16)に児童文化という言葉タイトルを入れた日本で初めての本である『児童文化』(西村書店)と『児童文化論』(岩波書店)が出版されますが、そのいずれにも滑川先生は波多野完治氏らと共に執筆者として関わっています。

戦時中は、国の児童文化統制機関であった少国民文化協会の活動にも関わるという不幸な時期もありましたが、戦後は民主国家建設のために児童文化活動の中心人物として旺盛な活動を展開していきます。文部省学習指導要領編集委員、文部省教科書局編集委員、文部省教育課程審議会委員など、戦後の民主主義教育の確立のために文部省に協力したり、日本作文の会常任委員や民間放送連盟番組審議会委員を務めたりするなど、その活動は広範囲に及びました。

滑川先生の研究は子どもの作文と読書活動を中心に、その素材となる児童文化財や児童文学に及ぶ実に広大なものです。学位論文をまとめた大著『日本作文綴方教育史』全三巻(国土社)が主著ということになりま



『桃太郎の変容前編』滑川先生著書

すが、社会的に最も高い評価を受けたのは1981年に毎日出版文化賞を受賞した『桃太郎像の変容』（東京書籍）と言えるでしょう。

600ページを超える『桃太郎像の変容』には、桃太郎話の成立や構成要素といった桃太郎話の基礎的研究にはじまり、桃太郎が修身童話として利用されたり、昭和戦中期には他国に侵略する軍国主義イデオロギーの教化に利用されたり、軍国少年の象徴と理想として利用されたりという波乱万丈の歴史を持つ桃太郎の変容が克明に記されています。また、文学、絵本、演劇、映画の中で桃太郎がどのように描かれたのか、多くの資料をもとに詳細な分析がなされ、最後に国文学者や民俗学者たちの桃太郎論を紹介し、桃太郎の関連事項・書目年表を付した、まさに桃太郎研究の決定版ともいえるべき内容となっています。

このような偉大な研究者が在籍していた本学図書館では、その業績を顕彰するとともに、本学の誇るべき遺産である滑川道夫先生の研究にちなんでお伽話に関する資料を広範に収集することにしました。本年度は、「桃太郎」に関する資料を中心にしながら、絵本や童話をはじめとして明治期や大正期に刊行された貴重書の数々にいたるまで可能な限りの収集を行ないました。

特に、1891年（明治24）に博文館が幼年文学叢書の第一冊目として刊行した尾崎紅葉の『鬼桃太郎』や、1922年（大正11）に藤田嗣治がパリで刊行した「Legendes Japonaises」、巖谷小波が博文館から1894年（明治27）に刊行を開始した「日本昔噺」などを購入できたことは、学生の学習にとって有益であるにとどまらず、本学図書館の貴重な財産として末永く活用されていくことになるでしょう。

お伽話に関する広範な資料の収集がなされ、長く本学図書館に所蔵されていくことで、本学図書館の他の図書館にはない大きな特色が生まれるものと期待しています。そして、偉大な先人の遺産とその研究精神を継承していくことで、誇りうる新たな本学の伝統が形成されていくことにもなると期待しています。

本学が誇るべき滑川道夫先生の偉大な研究業績を偲びつつ、ぜひ「東京成徳おとぎ話文庫」の資料の数々をご覧ください。



東京成徳おとぎ話文庫の一部

## 東京成徳おとぎ話文庫

平成19年度購入リスト

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 日本昔噺全24巻（博文館）                | 近世子どもの絵本集 全2冊（岩波書店）    |
| 日本お伽噺全24巻（博文館）               | 岡山桃太郎（岡山リビング新聞社）       |
| 鬼桃太郎 初版（博文館）                 | おかやまの桃太郎（岡山文庫）（日本文教出版） |
| Legendes Japonaises          | 昔話の森：桃太郎から百物語まで（大修館）   |
| （Éditions de l'Abeille d'Or） | 昔咄きりがみシリーズ 全3冊（岩崎美術社）  |
| 英文日本昔噺 改版（富山房）               | ちりめん本のすべて 第2版（三弥井書店）   |
| 日本お伽噺 復刻（臨川書房）               | 桃太郎の母 新訂版（講談社）         |
| 日本お伽噺 塙保己一（徒奈志満）             | 桃太郎：日本の3太郎（小学館）        |
| 月刊絵本8月号 特集・桃太郎絵本             | 桃太郎の運命（ミネルヴァ書房）        |
| （すばる書房盛光社）                   | 桃太郎（岩波書店）              |
| 桃太郎主義教育新論（賢文館）               |                        |
| 桃太郎主義教育の話（博文館新社）             | 他32点                   |

\* 全リストご希望の方は図書館までご連絡ください。



## 著作権講座 ②



前号の図書館だよりの「著作権講座①」で著作権についての基礎知識をご紹介しました。「著作権」についてご理解いただけたと思います。今回は、「図書館と著作権」「インターネットと著作権」「著作物を利用する方法」についてご説明します。

### 《図書館と著作権》

著作権法施行令で定める図書館のみ、「一定の要件」を守ることを条件に、権利者の許諾を得ずにコピーサービスができます。対象図書館は、国立国会図書館・公共図書館・大学図書館などです。小中学校・高等学校の図書室・企業の図書館・公民館の図書室（公共図書館分館を除く）はこれに該当しません。

\*「一定の要件」とは？

「一定の要件」は、「著作権法第三十一条（図書館等における複製）」に記されています。

「調査研究に使用するために、公表された著作物の一部分の複製を一人につき一部提供」できるということです。

「一部分」というのは、「半分以下」のことです。百科事典や複数の著作物が編集されている場合は各項目につき半分以下、楽譜は1曲の半分以下、地図は全体の半分以下しかコピーしてはいけません。

尚、雑誌などの定期刊行物は、最新号以外は全頁のコピーができます。最新号には、「一定の要件」が適用されます。

### 《インターネットと著作権》

レポートなどの作成の際、インターネット上のデジタルデータを参考にするということもあると思います。インターネット上の情報にも著作権はあります。インターネット上の情報を利用する際の注意点をあげておきます。

- 私的使用の複製の範囲内で利用可能です。（自分自身や家族など限られた範囲内で利用すること）
  - \* データをダウンロード、コピーして個人的に楽しむ。画像を壁紙にしたり、フロッピーに保存することもできる。
  - \* プリントアウトして、限定された家族や友人に見せる。
- 私的使用の複製の範囲を超える場合は、著作権者の許諾が必要となります。
  - \* データをダウンロードし、複製してみんなに配る。限定されない不特定多数に配ることは禁止。データをコピーして配るのも、印刷して配るのも禁止。
  - \* 自分のWEBページに掲載する。WEBページに掲載するということは、不特定多数の人がアクセスすることができるので禁止。

### 《著作物を利用する方法》

著作物を利用する際は、次の手順に従って許諾が必要かどうかまず調べてください。

＜著作物利用の手順＞ \*「はい」の場合 / 「いいえ」の場合

1. 日本で保護されているものですか？ 利用可能

- 
- ①日本国民の著作物
  - ②日本国内で最初に発行された著作物
  - ③条約によってわが国が保護の義務を負う著作物

2. 保護期間内のものですか？ 利用可能

原則的保護期間は、著作者が著作物を創作した時点から著作者の死後50年まで。  
詳細は、「著作権講座①(図書館だよりNo.13)」参照。

3. 自由に使える場合ですか？ 利用可能

- 次の場合、自由に使えます。
- ・私的使用のための複製。（自分自身や家族など限られた範囲内での利用のための複製）
  - ・法令で定めた図書館に限り、利用者に対し複製物の提供を行うことができる。（「図書館と著作権」参照）
  - ・自分の著作物に引用の目的上正当な範囲内で他人の著作物を引用して利用する場合。…など

4. 著作権者を調べて、利用の許諾を得る。 利用可能

（著作権管理団体から許諾を受けられる場合もあり。）

- \* 許諾を得る際に、できるだけ利用の仕方を詳しく説明した上で、利用の仕方、許諾の範囲、使用料の額と支払方法などを文書で確認しておくのが良いでしょう。
- \* 著作物の利用について不明なことがあるときは、法律の専門家か著作権関係団体に問い合わせをしたほうが良いでしょう。

# Information

## 展示のお知らせ

### 「書 ～新春は書道で～」

王維（王右丞）の七言絶句21首と五言絶句29首、蘇軾（蘇東坡）の七言絶句21首と五言絶句29首を隷書で記した、300cm×90cmの掛け軸4幅を展示しています。筆者は言語文化コミュニケーション科教授の樋口玄山先生です。この作品は、約2400字の大作となっています。有名な詩も入っていますので、知っている詩を探してみてください。

【場所】図書館1階展示コーナー

【期間】2008年1月7日（月）～1月25日（金）



### 東京成徳おとぎ話文庫 誕生記念展示 「桃太郎」

“むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは、山へしばかりに……”で始まる誰もが知っている『桃太郎』に関する古書や新本を約50点展示しています。

“桃太郎”は日本の昔話の中で一番よく知られていますが、時代や場所によって色々と異なった表現の仕方、描き方がされています。展示の中には、明治24年『鬼桃太郎』初版（尾崎紅葉）や1922年『日本昔噺 Legendes Japonaises』（藤田嗣治、パリ刊）など貴重な資料を紹介しています。多面にわたる“桃太郎”を見てください。

【場所】図書館1階特設コーナー

【期間】2008年1月7日（月）～1月30日（水）



## 図書館利用について

### \* 図書の貸出について

今年度の図書の貸出は3月11日（火）で終了いたします。  
（3月13日（木）～31日（月）の間、蔵書点検を行うため。）  
忘れずに返却をしてください。尚、貸出は4月3日（木）より再開します。

### \* 1月～3月の開館スケジュール

4月からの開館スケジュールは3月末に、図書館ホームページ又は掲示でお知らせします。

1 月							2 月							3 月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5 14:00	6					1	2	3						1	2
7 19:00	8 19:00	9 19:00	10 19:00	11 19:00	12 14:00	13	4 17:00	5 17:00	6 17:00	7 17:00	8 17:00	9	10	3 17:00	4 17:00	5 17:00	6 17:00	7 17:00	8	9
14	15 19:00	16 19:00	17 19:00	18 19:00	19 14:00	20	11	12 17:00	13 17:00	14 17:00	15 17:00	16	17	10 17:00	11 17:00	12	13	14	15	16
21 19:00	22 19:00	23 19:00	24 19:00	25 19:00	26 14:00	27	18 17:00	19 17:00	20 17:00	21 17:00	22 17:00	23	24	17	18	19	20	21	22	23
28 19:00	29 17:00	30 17:00	31				25 17:00	26 17:00	27 17:00	28 17:00	29 17:00			24	25	26	27	28	29	30
														31	* 13(木)～31(月)は蔵書点検期間です。					

\* グレーの欄は「閉館」

\* 日にちの下が閉館時間（開館時間は9:00）